鈴鹿工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	歴史Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	0034	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気電子工学科	対象学年	2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	『新編世界の歴史』北村正義（学術図書出版）・『最新世界史図説タペストリー』帝国書院編集部（帝国書院）・プリント		
担当教員	藤野 月子		

到達目標

1．第一次世界大戦以降の歴史的な意義が理解・説明出来る.
2．第二次世界大戦以降の歴史的な意義が理解・説明出来る.
3．この時期の日本の在り方が理解・説明出来る.
4．現代に繋がる歴史的過程が理解・説明出来る.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	第一次世界大戦以降の歴史的な意義が深く理解・説明出来る.	第一次世界大戦以降の歴史的な意義が理解・説明出来る.	第一次世界大戦以降の歴史的な意義が理解・説明出来ない.
評価項目2	第二次世界大戦以降の歴史的な意義が深く理解・説明出来る.	第二次世界大戦以降の歴史的な意義が理解・説明出来る.	第二次世界大戦以降の歴史的な意義が理解・説明出来ない.
評価項目3	この時期の日本の在り方が深く理解・説明出来る.	この時期の日本の在り方が理解・説明出来る.	この時期の日本の在り方が理解・説明出来ない.
評価項目4	現代に繋がる歴史的過程が深く理解・説明出来る.	現代に繋がる歴史的過程が理解・説明出来る.	現代に繋がる歴史的過程が理解・説明出来ない.

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	人類の歴史を学ぶことを通じ，世界を舞台に活躍する国際人として必要な知識を身に付けることを目指す．社会の発展過程を論理的に追究する能力を養うことを目指す.
授業の進め方・方法	・すべての内容は学習・教育到達目標に対応する. ・授業は講義形式で行う．講義を聞き，黒板や教科書・図説を見つつ，配布したプリントの空欄を埋める．通常授業中には，グループによる自己学習の時間も設ける. ・「授業計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.
注意点	<到達目標の評価方法と基準>下記授業計画の「到達目標」を網羅した問題を，中間・期末・学年末の試験で出題し，目標の達成度を評価する．満点である１００%の得点により，目標の達成を確認出来るレベルの試験を課す. <学業成績の評価方法及び評価基準>前期中間・前期末・後期中間・学年末の試験の点数で評価する．ただし，前期中間・前期末・後期中間・学年末の試験について６０点に達していない者には再試験を課す．再試験の結果が６０点を上回った場合には，その成績を６０点として置き換える．授業中に世界遺産に関するレポートを２回ほど課し，プリントの提出も行い，それらも評価に加味する. <単位修得要件>学業成績で６０点以上を取得すること. <あらかじめ要求される基礎知識の範囲>今日の世界で起こっている歴史的な出来事に普段から関心を寄せておくこと．新聞やテレビのニュースなども教材として随時利用する. <備考>『最新世界史図説タペストリー』は授業に必ず携帯すること.

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	第一次世界大戦	１．第一次世界大戦の背景が理解出来る.
		2週	第一次世界大戦と日本	２．第一次世界大戦の際の日本の様子が理解出来る.
		3週	ロシア革命	３．ロシア革命を通じて社会主義が理解出来る.
		4週	ヴェルサイユ体制	４．ヴェルサイユ体制の仕組みが理解出来る.
		5週	ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	５．ヴェルサイユ体制下の欧米諸国の様子が理解出来る.
		6週	中国革命	６．中国革命を通じて当時の日本と中国の関係が理解出来る.
		7週	大正デモクラシー	７．大正デモクラシーを通じて当時の日本の様子が理解出来る.
		8週	中間試験	上記１～７の内容が理解出来る.
	2ndQ	9週	世界恐慌	８．世界恐慌の内容が理解出来る.
		10週	ファシズム	９．ファシズム諸国の侵略が理解出来る.
		11週	ファシズムと日本	１０．日本におけるファシズムが理解出来る.
		12週	第二次世界大戦	１１．第二次世界大戦の背景が理解出来る.
		13週	第二次世界大戦と日本	１２．第二次世界大戦の際の日本の様子が理解出来る.
		14週	冷戦とその後の世界	１３．東西対立と冷戦の内容が理解出来る.
		15週	現代日本	１４．冷戦後から現在までの日本の様子が理解出来る.
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	

評価割合

	試験	課題（レポート・プリント・その他）	合計
総合評価割合	80	20	100
配点	80	20	100